

Voltera D Mシリーズは、高性能DSPを一体化したパワーアンプです。複雑な音声処理や分配にも対応できる処理能力を備えており、柔軟性、信頼性、優れた音質を提供します。TesiraFORTEに匹敵するパワフルなDSPを内蔵しています。

●仕様

概要	
アンプチャンネル数	4
総出力（全チャンネル駆動時）	600 W
最大出力電圧	145 Vpk
最大出力電流	23 Apk
チャンネルごとの出力 （すべてのチャンネル駆動時）	Hi-Z（70 / 100 V）：150 W 16 Ω ：150 W 8 Ω ：150 W 4 Ω ：150 W 2.7 Ω ：150 W
電力共有機能を使用した場合の チャンネルごとの最大出力 （任意のチャンネルで利用可能）	Hi-Z（70 / 100 V）：450 W 16 Ω ：450 W 8 Ω ：450 W 4 Ω ：450 W 2.7 Ω ：450 W
ネットワーク	
ポート	2 × LAN 端子 1000 Base-T
対応ネットワークメディアフォーマット	Dante / AES67 / AVB
対応ネットワークモード	コンバージド / スプリット / リダンダント
PoE+サポート	ポート 1 が UPS（無停電電源装置）により電源保護された PoE+スイッチに接続されている場合、 停電時に主電源が失われても、プロセッサは PoE+で継続的に動作可能
ネットワークレイテンシー	AVB：2 ms Dante：1/2 ms
サンプリング周波数	96 kHz / 48 kHz
リモートインターフェース	Tesira, VenueTune
サードパーティインターフェース	TTP
信号処理	
レイテンシー（アナログ入力～出力）	2.65 ms（ピークリミッターのための先読み遅延含む）
デフォルトゲイン（アナログ入力～出力）	29 dB

入力	デジタル音声が入切れた場合のアナログリダント機能 複数の信号処理（EQ・ゲイン・ディレイなど）を階層的にグループ制御可能
出力	スピーカーごとのプロファイルに対応する充実した処理 ・ 2048 タップの FIR フィルターと 24 バンド IIR フィルターを使用可能 ・ ダイナミック EQ ・ 温度・ピークリミッター w/サイドチェーン
起動時間（PoE+使用時）	<1 s
オーディオパフォーマンス	
THD+N	<0.05 %（1000 Hz、最大出力より 1 dB 低い場合） <0.05 %（20 - 20000 Hz、1 W 時）
周波数特性	±0.5 dB（20 - 20000 Hz, 8Ω, unweighted）
チャンネルセパレーション （1 kHz クロストーク）	>70 dB
ダイナミックレンジ	117 dB
リアパネルインターフェース	
制御 / モニタリング IO	全チャンネルミュート（入力）、ステータス（出力）、スリープモード状態（出力） スリープモード（入力）
プログラム可能な GPIO	4 × ロジック/ボルテージコントロールピン, Tesira Software を使用し設定可能
アナログ入力端子	3 ピンターミナルブロック, 3.81mm ピッチ
出力端子	2 ピンターミナルブロック, 41 Arms, 8 mm ² (8.2 AWG)のケーブル径に対応
着脱可能電源部	3 ピン IEC C14 インレット, C13 ケーブル向け
フロントパネルインターフェース	
デザイン	改ざん防止デザイン
設置場所の検知	前面パネルおよびソフトウェアからの双方向場所検知機能
システムステータスインジケータ	大規模システム内での問題を表示
デバイスステータスインジケータ	ステータス, アクティビティ, 故障
チャンネルステータスインジケータ	mute, signal, limit, temp
電源と環境	
冷却	可変速ファン, 前方から後方へのエアフロー
動作温度	0 - 40°C
相対湿度	0~95%（結露なきこと）, 高度 0- 2000 m
公称電圧	100 - 240 VAC, 50/60 Hz
物理仕様	
寸法（H × W × D）	44 × 444 × 430 mm
質量	7.7 kg

●同梱アクセサリ

19 インチ 1 RU マウント用 リアサポートキット

[illegible]

Technical drawing of a rectangular frame. The drawing shows a large rectangle with a smaller rectangle inside it. The outer rectangle has a width of 442.5 and a height of 113. The inner rectangle has a width of 444 and a height of 108. The dimensions are labeled with arrows and numbers. The labels are: 442.5 (top), 113 (right), 444 (bottom), and 108 (right). There are also small circles with numbers inside them, located at the corners of the rectangles: 10 (top-left), 11 (top-right), 12 (bottom-left), and 13 (bottom-right).

Figure 1 is a schematic diagram of the experimental setup. It shows a participant seated at a table, looking at a screen. The screen displays a vertical sequence of three rectangular stimuli, labeled 'a', 'b', and 'c' from top to bottom. The participant is instructed to respond by pressing a button on the table.